

# 第7回単位PTA会長会

東日本大震災の影響により開催が危ぶまれておりました「第7回単位PTA会長会」が、平成23年7月2日（土）に松島「ホテル大観荘」において開催されました。

被災の状況等から参加者の減少も懸念されましたが、約200名の会長さん方々に参加いただき例年にも増して盛大に開催できましたことに感謝申し上げます。



## 開会行事

東日本大震災において犠牲に会われた方々に対して黙祷が捧げられ、PTAの歌の斉唱後、奈須野毅会長から「震災の影響により今年のPTA活動は特に重要で、県内の会員みなで乗り切っていく」と力強いあいさつが行われました。また、宮城県教育委員会小林伸一教育長様よりご祝辞をいただき、その後、日程の説明が行われ、会長会の研修がスタートしました。

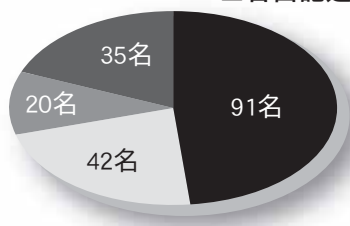
## 研修 I

県P連の組織運営や東日本

- 大震災被災地への支援活動等の説明が行われ、平成23年度宮城県PTA連合会活動方針が報告され、「地域ぐるみで育てよう、心豊かでたくましいみやぎの子」を主題とし、東日本大震災からの復興を第一に活動して行くこと、また事業計画では、東日本大震災からの復興事業などが説明されました。東日本大震災復興支援事業につきましては、
- ① 単位PTAの負担金の軽減
  - ② 中・長期的な支援体制づくり及び全体での支援活動
  - ③ 支援物資の提供
  - ④ 義援金による支援
  - ⑤ 安全互助事業において被災者の負担軽減を行う
  - ⑥ 児童・生徒・園児の学習環境の早期改善を図ることを重点としこれまでの支援活動内容を報告されました。
- 今年のPTA活動について不安を抱いていた会長さん方も、少しは安心できたのではないかと思います。

## アンケート調査報告

□自由記述（複数回答を含む）188名の内訳



- ワークショップ・情報交換がよかった 91名
- ワークショップの持ち方を検討してほしい 42名
- PTA活動の勉強になった 20名
- 講演がよかった他 35名

<講演がよかった他の内訳>

- ・参加率について 2名
- ・講演がよかった 12名
- ・環境・行政へのはたらきかけなど 3名
- ・肯定的な意見など 12名
- ・反省や要望に関する意見など 6名

〔考察〕  
複数回答188名の自由記述については、情報交換がよかった48名、ワークショップがよかった23名、意見や情報が聞けた20名の計91名で、自由記述全体の約50%がワークショップへの肯定的評価でした。ワークショップの持ち方を検討してほしい42名についても、期待からの記述と考えられます。



初めての参加でしたが大変意義のある時間でした。講演で高橋守夫先生の「目的は何だ？何のためにやるのだ？」との言葉に気持ちを引き締められ、「私苦手です」では済まされない立場となり参加したワークショップ。先輩会長の意見集約、解決策への導引などはとても参考になりました。討論内容の「活動の進め方」では、他地域の活動例参加者の募り方など目からウロコの内容を聞く事が出来ました。「被災地支援について」では、せつかくの支援がボタンの掛け違いにならないよう、この様な情報交換が出来る場を設ける事の大切さを共有する機会となりました。この体験を基に笑顔で、そして強く感じた絆を意識して取り組みます。有難うございました。

東松島市立矢本東小学校  
佐々木 豊